

10月30日(月)に、ろこぎ体験をさせていただきました。お天気も良く、ろこぎ日和!子どもたちのキラキラ輝く笑顔も素敵でした。でも、体験をしてみて、「思ったよりも重くて、大変だった。」、「波がもっとあるようなところでろこぎをしているのだから漁師さんはすごい!」と子どもたちは感じたようです。貴重な体験をさせてくださった、橋本会長さん、吉田さん、児島さん、ありがとうございました。

ろこぎ 体験



児童の作文より (一部抜粋)

ぼくはろこぎ体験をして、漁ぎようのしごとについてわかりました。ろこぎをこいでみたら、すごく重たかったです。ひいじいちゃんもこいでいたそうです。大へんだっただろうと思います。

(3年 吉田吏玖)

今日はろこぎ体験で漁しさんの仕事を少し体験しました。自分でこいでいて、漁しさんが少し手伝ってくれただけでとても軽く感じたので、「漁しさんは、力がたくさんあってすごいな。」と思いました。ソーラン節をして、少しはコツをつかんでいたと思っていたけどとても重くて、思い通りに進まなかったです。こんな重いものを仕事で毎日のように使っていると思うと、もっと漁しさんのすごさがわかりました。

(4年内田 朔人)

★11月2日(木) 天気にも恵まれ、魚つり体験をさせていただきました。あまり釣れないうちも言われていましたが大漁の魚を釣ることができ、子ども達はとても嬉しそうでした。体験をしてみて、「魚が釣れないときには釣れるところへ船を移動して釣れるようにしてください。」「波に揺られながら釣りをする漁師さんはすごい!!」と子どもたちは感じたようです。貴重な体験をさせていただき、橋本会長さん、吉田さん、兒島さん、前田会長さん、ありがとうございました。

★11月6日(月)には、椿油工場見学をさせていただきました。椿油の貴重さや絞る作業の大変さを感じていました。また、自分達で拾った堅石も絞っていただきました。「たくさん拾ったつもりなのに、油にするとちょっとにしかないから椿油の価値が本当に高いことが分かった。」と椿油のすばらしさを肌で感じたようでした。山下さんありがとうございました。

椿油工場見学



魚釣り体験



児童の作文より
(一部抜粋)

始めは釣った魚を先生にとってもらっていたけど、どんどん一人でえさを入れたり、魚をとることができるようになりました。ヒラメも釣れました。かかったときには、重かったけど、上げていくと姿が見えてとてもうれしかったです。

たくさん魚が釣れて船に乗せてもらった勝さんに感謝をしたいと思います。

(5年 高松 昭太郎)

椿油工場で五千個ぐらの堅石があったのに、油が出てきたのは、少してびっくりしました。その後、和紙でこすそうで、もっと少なくなるそうです。私はずっとも貴重なものなんだなと思いました。

瓶に入れた油に手がかざすと黄金色に輝いていました。その貴重な椿油を使ったうどん作りをするのが楽しみです。

(6年 松本 真瑠奈)